



第16回

座長  
医学系研究科長  
遺伝子治療学  
金田 安史 教授

「末梢循環性間葉系細胞の  
臨床的意義」

玉井 克人 寄附講座教授  
(再生誘導医学寄附講座)

末梢循環血液中に線維芽細胞様増殖を示す間葉系細胞が存在することは古くから知られているが、その希少性ゆえに生体内における存在意義は永く不明なままであった。本セミナーでは、末梢循環性間葉系細胞の骨髄内起源、遺伝子発現パターン解析から見た特徴、組織損傷に対する応答メカニズム、およびその誘導医薬開発について最近の知見を述べる。

# 最先端医療 イノベーションセンター 定例セミナー

2017.12.06 (Wed)  
18:00-19:00

最先端医療イノベーションセンター棟 1F  
マルチメディアホール

「表皮水疱症に対する他家骨髄間葉系  
間質細胞製剤の開発」

菊池 康 寄附講座助教  
(再生誘導医学寄附講座)

表皮水疱症は、皮膚基底膜接着構造蛋白の遺伝的機能破綻により、日常生活の軽微な外力で水疱・潰瘍を形成し、全身熱傷様皮膚潰瘍を生じる遺伝性水疱性皮膚難病である。我々は、極めて難治な表皮水疱症患者皮膚潰瘍を対象として、健常家族由来骨髄間葉系間質細胞移植臨床研究を経て、現在他家骨髄間葉系間質細胞製剤の医師主導治験を進めている。

座長  
玉井 克人  
寄附講座教授

お問い合わせ先  
最先端医療イノベーション  
センター事務室 06-6210-8201  
i-sentaninobe@office.osaka-u.ac.jp